

本願寺函館別院 新生事業推進計画

再建大めり

第1号



- 輪番ご挨拶 1ページ
- 建設部会・募財勧励部会
各部会長ご挨拶 2ページ
- 工事概要
御遷仏法要のご案内 3ページ
- 新境内図 4~5ページ
- ご懇志進納状況と
お扱いについて 6~7ページ
- 工程表
工事中のお参りについて 8ページ



本願寺函館別院
輪番 陰山 正憲



慈光照護のもと、皆様に
おかげましては益々ご清祥の
こととお慶び申し上げます。

さて、このたび永年の懸案
事項であります、本願寺函
館別院本堂新築をはじめとす
る境内地整備事業が、3カ年
の計画期間を経て、明年2月
より再建実現に向け着工致し
ます。

いよいよ本堂再建の鐘音が
境内いっぱいに響き始め、工事
がスタート致します。晴れて
この日を迎えることができま
すのも、偏に別院門信徒並び
に崇敬寺院・関係各位の深い
ご理解とご協力の賜と、改め
て感謝申し上げる次第であり
ます。

何卒よろしくお願ひ申し上
げます。

このたびの事業は、本堂(7
6.9.91坪 全館バリアフリ
ー 冷暖房・エレベーター完
備)・職員住宅(8.5.16坪2
LDK4部屋)新築に併せて、
文化会館・納骨堂・駐車場を
一部改修整備し、道南における
聞法と総合教化のセンターと
しての機能と共に、地域コミュニ
ティーの核としての機能も
併せ持つた、施設整備を目指
したものであります。

親鸞聖人750回大遠忌を
機に、次代にお念仏のみ教え
を確実に伝えていく為の活動
拠点建築として、このたびの事
業に尚一層のお力添えを賜り
ますようお願ひ申し上げます。

最後に、大変勝手なご依頼
で恐縮ですが、平成24年度末
には新しい本堂が完成予定で
あります。それに伴い、多額の
支払資金が必要となつてまい
りますので、ご懇志早期進納
いただければ何よりと存じま
す。

「なごみ」の寺 本願寺函館別院

函館市東川町12-12 ☎(0138)23-0647

ホームページアドレス <http://hongwanji-h.h-tk.jp>

建設部会



部会長

小原 幸男



部会長

渡邊 威

募財勧励部会

いよいよ師走に入り、本年もかがり火のパチパチ弾ける中、除夜の鐘を撞く頃となりました。

この数年来御聖人750回遠忌を機縁とした函館西別院新生事業が計画され、老朽化した本堂の再建等の事業を着手することへのいよいよであります。見納めになる本堂境内の景色をながめると初代知堂、堀川乗経師の顕彰碑が目に入ります。

碑文によりますと「安政四年五月此ノ地布教ノ公許ヲ得テ教田ノ開拓ト興法利生ノタメ生涯ヲ捧げ明治十一年六月廿五日逝ク行年五十五歳」とあります。幕末期より明治初頭にかけ活躍したこの地域の先人は文字通り興法と利生への生涯でありました。

五稜郭より函館山へ向つて東西を南北にむすぶ高砂道路は、曾つて願乗寺川といわれた疏水跡であつ

函館大火により本堂が焼失した後、第二次世界大戦の時期を経て、昭和25年に現在の本堂が再建されました。が、当時は戦後の物資の乏しい中での再建であつたため、60年近くを経てかなり痛みも激しく

なり、その建て替えのことが望まれておりました。
そんななかで、親鸞聖人議されてまいりましたが、各方面の御指導を得て、ここに平成24年2月に着工の運びとなりましたこと誠に喜びに耐えません。

本堂新築並びに境内整備にあたり、設計建築等について関係各位と熟議

が望まれております。

そんななかで、親鸞聖人議されてまいりましたが、各方面の御指導を得て、ここに平成24年2月に着工の運びとなりましたこと誠に喜びに耐えません。

なり、その建て替えのことが望まれておりました。
そんななかで、親鸞聖人議されてまいりましたが、各方面の御指導を得て、ここに平成24年2月に着工の運びとなりましたこと誠に喜びに耐えません。

なり、その建て替えのことが望まれておりました。
そんななかで、親鸞聖人議されてまいりましたが、各方面の御指導を得て、ここに平成24年2月に着工の運びとなりましたこと誠に喜びに耐えません。

2

くからの伝統を守りつつも現代の生活に合った構造としました。函館及び道南の仏教の拠点にふさわしい寺院が出来上がるるものと思つております。

ただ、去る3月11日の大震災による世情の不安と、長引くデフレ経済のなか少なからぬ不安での事業推進であります。が、御門徒並びに関係各位様とともに

くからの伝統を守りつつも現代の生活に合った構造としました。函館及び道南の仏教の拠点にふさわしい寺院が出来上がるものと思つております。

ある別院の本堂建築を含む新生事業が立派に完成されますこと念願する次第であります。

合掌

思いをいたし議論いたす機会は熟していることと私は募財勧励の任を仰せつかり、皆様への再建へのための募財を広くお願ひ申し上げる責を負う人であります。

ここに地域の核たるべき布教の道場、函館西別院新生とは具体的に何を指すべきものなのか、問うものであります。

この度の聖人大遠忌の御縁に依る函館西別院新生の折あらためて我々の西別院はいかにあるべきか

本願寺函館別院 再建工事概要

1. 工事期間	平成24年1月～平成25年3月(別紙工程表を参照ください)												
2. 工事内容	新築工事 本堂 鉄筋コンクリート2階建て 総床面積 2,545.20m ² 職員住宅 木造2階建て 2LDK4室 総床面積 288.21m ² 付帯工事 文化会館・納骨堂・境内駐車場 改修整備												
3. 工事費	734,100,000円 <table><tbody><tr><td>・本堂建築</td><td>568,232,500円</td></tr><tr><td>・仏具修復新調</td><td>50,000,000円</td></tr><tr><td>・記念納骨壇新設</td><td>30,000,000円</td></tr><tr><td>・文化会館・納骨堂改築</td><td>13,393,000円</td></tr><tr><td>・職員住宅建築</td><td>35,374,500円</td></tr><tr><td>・設計監理</td><td>37,100,000円</td></tr></tbody></table>	・本堂建築	568,232,500円	・仏具修復新調	50,000,000円	・記念納骨壇新設	30,000,000円	・文化会館・納骨堂改築	13,393,000円	・職員住宅建築	35,374,500円	・設計監理	37,100,000円
・本堂建築	568,232,500円												
・仏具修復新調	50,000,000円												
・記念納骨壇新設	30,000,000円												
・文化会館・納骨堂改築	13,393,000円												
・職員住宅建築	35,374,500円												
・設計監理	37,100,000円												
4. 工事業者	施工業者 株式会社 森川組 (函館市海岸町9番23号) 設計監理者 株式会社 二本柳慶一建築研究所 (函館市青柳町39番12号) 仏具納入業者 株式会社 若林佛具製作所 (京都市下京区七条通新町東入西境町146番地)												

御遷仏法要

平成24年 1月16日(月) 午後2時30分より
(御正忌法要に引き続き)

翌17日より内側から解体作業が始まりますので、現在の本堂最後の法要となります。ご本尊の阿弥陀如来像を皆様の前でお下げして御箱にご安置する「御遷仏」を行います。

60年以上に亘ってご法縁をいただいた本堂へのお別れと感謝を込めて、ご一緒にお勤めさせていただきましょう。

現在の本堂最後となる遇い難いご縁に、是非お参りください。



新本堂

- 今までよりも大きくなつて光が多く入るようになりました。
- 出入り口や廊下などの全面が段差のないバリアフリーとなります。
- 正面玄関前はスロープが作られ、車の乗り入れが可能になります。
- エレベーターが設置されます。
- 靴を脱がずに土足でお参りできます。
- 参拝の皆様がお休みできる談話スペース、様々な目的に使用できる大・中・小の会議室、などが設けられます。
- 2階は記念納骨堂が設置されます。

龍谷幼稚園

本 堂

中庭

職員入口

公用車駐車場

別院職員
駐車場

幼稚園職員
駐車場

職員住宅

納骨堂の1階と3階が
新本堂と連結され、今
までよりもお参りがし
やすくなります。

職員役宅と駐車場を新設します。
公用車などをこちらに移して本堂
前に車を停めやすくします。

新境内図

東川4号線

↑市役所

高砂通り

函館山↓

公園通2号

境内
入口

境内
入口

来院者駐車場

園庭

境 内

在籍
入口

車路

屋外通路

入口▶

文化会館

玄関前を改修します。
本堂までの通路ができる、
移動しやすくなります。

納金額	目標金額
,000円	300,000,000円
,000円	15,000,000円
,000円	150,000,000円
,209円	30,000,000円
,000円	10,000,000円
,209円	505,000,000円

御芳志有り難くお受け致しました。引き続き、早期ご進納ご協力のほど、お願い申し上げます。

ご懇志 300万円以上お扱い



イメージ図

記念納骨壇



季節を問わず、雨の日でも自由にお参りできます。



開扉時

- 寸法：高さ235cm×幅95cm×奥行65cm
- 形状：独立タイプ
- 仏具三尊：御本尊絵像・親鸞聖人絵像・蓮如上人絵像
- 花立・電気式輪灯・電気式ローソク・電気式香炉・リン一式
- 御骨収納数：16個

お持ちの納骨壇から 記念納骨壇へ変更の方へ

※記念納骨壇（300万円）から、現在お持ちの納骨壇（冥加金）を引いた額とさせていただきます。

例
記念納骨壇 普通壇
300万円 - 100万円 = 200万円

現在のご懇志 進納状況

(平成23年12月21日現在)

	現在ご進
別院門徒懇志	167,300
崇敬寺院懇志	13,500
特別懇志	20,300
協賛懇志	26,004
協力懇志	6,933
合計	234,037

ご懇志 20万円以上お扱い

院号



ご本山よりこのような形で
お届けされます。

ご懇志をご進納くださった
ご本人、家族の方、故人、どなた
の院号として申請されるか、お
伝えください。

「院号」は、もともとは寺
院の名をもつてそこに住む
僧侶を呼ぶ風習が平安時
代ごろから起り、現在、淨
土真宗本願寺派では、宗門
の護寺発展に功績のあつた
方、または、社会に対する功
労が顯著であると認められ
た方に、宗門より授与され
るものです。

※院号のみのお渡しと
なります。
法名について下記
をお読みください。

- 法名（釋〇〇）を既にいただかれてい
る方は、その旨をお伝えください。
- 今回、先に院号をいただかれた方は、
是非これから帰敬式（おかみそり）を
受けて法名を授かつてください。
帰敬式は京都のご本山でほぼ毎日行
われており、また、この別院の大遠忌
法要でも受式できます。

誓

願

院



平成24年

工程表(予定)

平成25年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
関連行事	御遷仏法要	起工式						上棟式							
本 堂		解体工事			新築工事										竣工
文化会館											改修工事				
納骨堂										改修工事					
職員住宅											新築工事				

工事中のお参りについて

工事期間中は、下記のとおり囲いが設けられます。お車を停める場所が大幅に少なくなり、また、仮本堂・納骨堂・寺務所までの通路が随時変更されます。期間中、大変ご不便をおかけしますが案内看板を参考にお参りください。なお、安全面には最大限の配慮をいたします。



完成予定の平成25年3月迄は文化会館の1階を仮の本堂とさせていただきます。恒例行事、晨朝(朝のお参り)、毎月15・16日の法要をこちらでお勤めします。

ご法事なども出来ますので、どうぞお問い合わせください。